



4年生 台湾との交流会

昨日17日(木)に、4年生の子供たちは、台湾の大庄國小学校の4年生の小学生たちとオンライン上で交流会を実施しました。4年担任の兒玉先生と縁のある台湾の大学の先生を通じて、交流会の運びとなりました。始めは学校の校長同士が挨拶をして、そのあと両校の紹介です。台湾の小学校からは、学校紹介ビデオが流され、小学校の様子が伝わりました。そのあと、台湾の小学校からは、日本語で自己紹介をしてくれたり、「こぎつね」を日本語で歌ってくれたりして、思いを伝えてくれました。また、帯西からは学級ごとに、担任の先生の紹介と、学級目標の説明をしました。学級目標の説明では、寸劇も交えて面白く、そして楽しく紹介してくれました。子供たちの生き生きとした表情は、きっと台湾にも伝わったと思います。最後に、帯西の子供たちからは、リコーダーで「陽気な船長」の演奏をして、交流会を締めくくりました。最後に、スクリーンに映し出された、台湾の子供たちをバックに、全員で記念撮影を行いました。子供たちは、「『👁️帯西ブルー』の心が伸びました。その理由は台湾の人ががんばって、日本語で子ぎつねこんこの曲を歌ってくれて、とても感動したからです。」「私は『👁️帯西イエロー』と『👁️レッド』の心が伸びました。その理由はみんなで協力して小道具を作ったり、精いっぱい4年生のよさを台湾の4年生に伝えたりすることができたからです。」「私は『👁️帯西グリーン』と『👁️レッド』の心が伸びました。理由は、友達と助け合えたり、自信をもって発表できたりしたからです。緊張したけど『いい学校だよ。』と伝えるために、これらの心をたくさん伸ばしました。」という感想を持ちました。



台湾と日本は、TSMCによって、経済や文化での新たな交流が始まっています。そして、これからは教育の分野でも、新しいパートナーシップを築いていかなければなりません。今回の交流会が、日本と台湾の子供たち、そして学校同士が仲良くなれるきっかけになればいいと思います。

校内音楽会に向けて

10月31日(木)の校内音楽会が近づいてきました。そのため、毎年恒例の体育館へのひな壇設置作業が、今朝行われました。朝から、体育館に5年生の子供たちが続々と集まってきて、自分にできることを探しながら動いてくれました。年に一回の音楽会ですが、こうして5年生の姿を見ると、今年も帯西の伝統が引き継がれていることを感じます。5年生は、ひな壇設置のノウハウを学び、卒業式の6年生のためにもひな壇を設置するのです。さらに、来週は6年生が体育館に楽器を運んでくれる予定です。この様に高学年が、学校のために、「帯西イエロー」の中の一つである「役割を自覚し、よりよい学校をつくる」のピースの心を発揮してくれる姿に頼もしさを感じました。高学年に感謝をしつつ、帯西の次のリーダーを担う5年生にもその姿が受け継がれていて、嬉しく思いました。



役割を自覚し、
よりよい
学校や
学校をつくる

体育館から校長室に戻ると、どこかの教室から子供たちの歌声が聞こえてきました。子供たちに一人一人が音楽会に向けて気持ちが高まっているようです。